

平成29年度

予算

平成29年度の予算は、市民の安全安心、幸せな暮らしづくりのため、第五次総合計画のもと、第二次財政計画を規律とした、健全な財政状況を維持する内容としています。市庁舎建設という大型事業に取り組みますが、このことが市民サービスの低下を招かぬよう、さらなる経常経費の見直しを図り、予算編成を行いました。この取り組みの結果、一般会計については、対前年度比3.4%増の約31.2億1,400万円を予算計上しました。

● 問い合わせ先 財政課

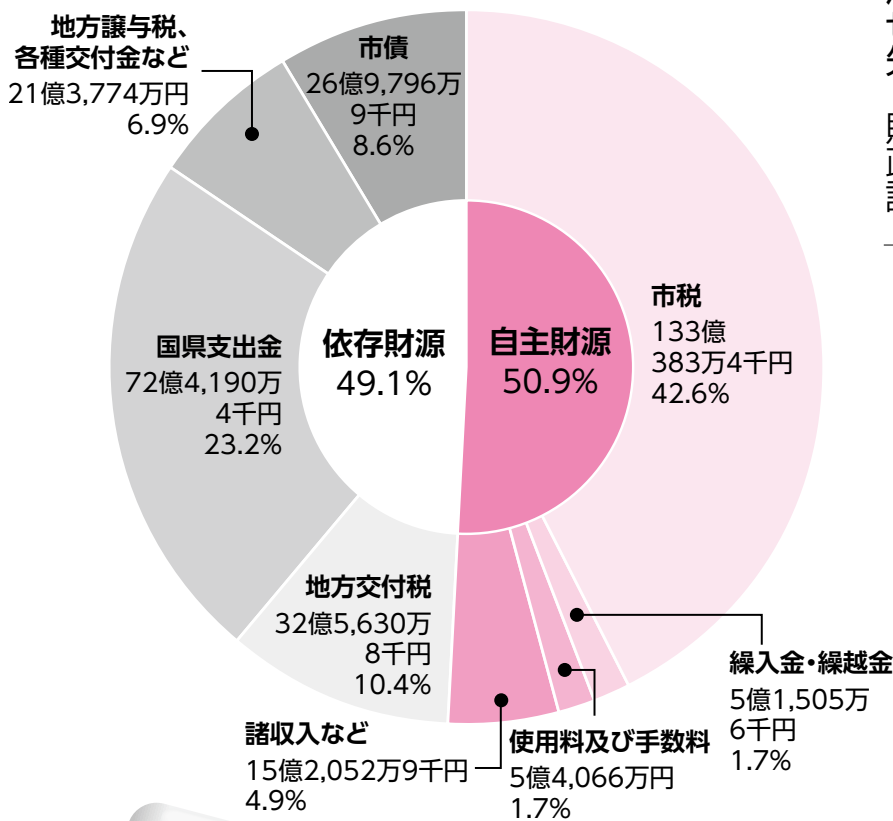
一般会計歳入

歳入の主な増減内容として、市税は、個人所得の増加見込により個人市民税が約6千万円の増額、家屋の新築などにより固定資産税が約1億2千万円の増額などにより全体で約2億4千万円の増額となりました。

国県支出金は、二日市東コミュニティセンター建設事業の事業終了や、地域密着型施設等整備補助金の減額に伴い、全体で約1億2千万円の減額となりました。

繰入金は、庁舎建設基金繰入金約3億7千万円の増額、また、市債は市庁舎建設事業債約11億6千万円の増額などにより全体で約9億8千万円の増額となりました。

一般会計 歳入 312億1,400万円の内訳



用語解説

- 自主財源 市が自主的に調達できるお金
- 依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- 市税 個人市民税、法人市民税、固定資産税など
- 繰入金・繰越金 前年度からの繰越金や基金からの繰入金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や保育料など
- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金
- 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金

一般会計歳出

歳出の主な増減内容として、民生費は障害福祉サービスの利用者増により介護給付等事業が増額、助成範囲の拡大により子ども医療費支給事業が増額となるものの、地域密着型施設等整備補助金の減額などにより全体で約5千万円の減額となりました。

総務費は、事業終了に伴い二日市東コミュニティセン

用語解説

- **民生費** 子どもや高齢者、障害者などの福祉の費用
- **総務費** 行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- **土木費** 道路や公園などの補修や建設などの費用
- **衛生費** 健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- **公債費** 市の借金の返済などの費用
- **教育費** 教育や文化・スポーツなどの費用
- **その他** 議会や農・商工業、消防などの費用

特別会計・公営企業会計予算

特別会計については、国民健康保険事業特別会計の高額医療費の増加や、介護保険事業特別会計の介護サービスの利用増により、特別会計の合計は、対前年度比約4億2千万円増の約203億

円を予算計上しています。公営企業会計については、水道事業会計約27億2千万円、下水道事業会計約38億円の予算を計上しています。

ター建設事業が減額となるものの、筑紫野市庁舎建設事業の増額などにより全体で約12億7千万円の増額となりました。

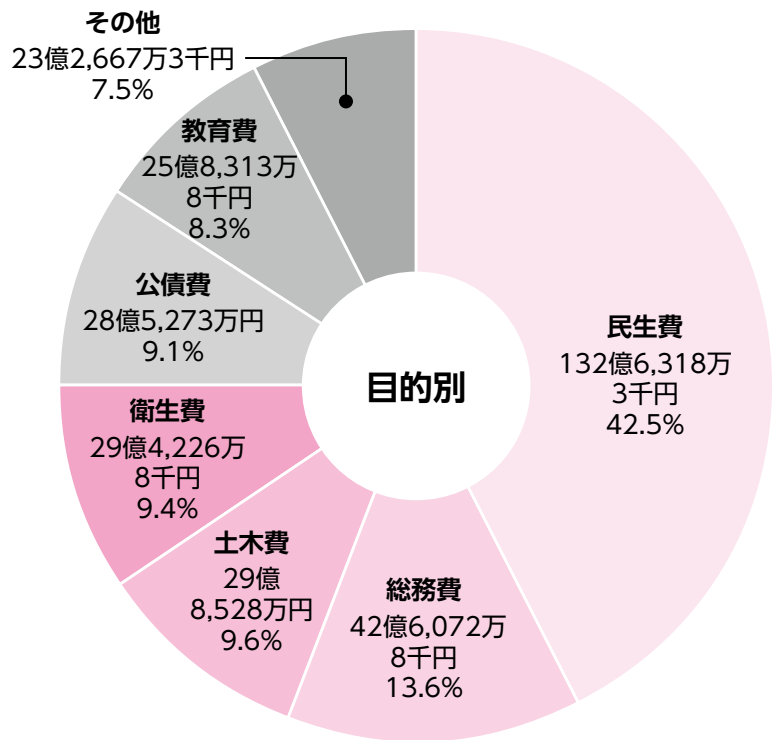
土木費は、事業進捗に伴う筑紫駅西口土地区画整理事業の減額などにより、全体で約4億2千万円の減額となりました。

特別会計予算

(単位 千円)

会計名	予算額
国民健康保険事業	11,551,290
住宅新築資金等貸付事業	5,490
奨学資金貸与事業	8,934
介護保険事業	6,210,549
後期高齢者医療事業	2,240,433
農業集落排水事業	229,324
筑紫地区障害支援区分等審査会事業	12,957
二日市財産区	3,195
御笠財産区	8,197
平等寺山財産区	25,671
合計	20,296,040

一般会計 歳出 312億1,400万円の内訳



公営企業会計予算

(単位 千円、消費税等込)

区分	水道事業		下水道事業	
	収入	支出	収入	支出
収益的収支	2,027,259	1,752,932	2,405,457	2,176,836
資本的収支	479,168	968,848	1,030,626	1,618,308
合計	2,506,427	2,721,780	3,436,083	3,795,144

収益的収支……経済活動に伴い発生する収益と費用、資本的収支……建設改良にかかる収入と支出

平成29年度 じゅうてん し さ く 重点施策

平成29年度施政方針に基づき、今年度も多くの事業を実施します。
重点施策とその主な概要をお知らせします。(下線は新規事業)

1

重点施策 行財政改革

■筑紫野市庁舎建設事業

16億1,512万4千円

市庁舎建設にかかる実施設計および庁舎本体・立体駐車場の工事を行います。

■市庁舎建設周辺整備事業

5,124万円

市庁舎建設地北側の交通ルート整備および試験場踏切改良の検討を行います。



新市庁舎イメージ(基本設計段階のイメージであり、実際とは異なる場合があります)

2

重点施策 産業・雇用をつくる

■青年就農給付金事業

1,500万円

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して青年就農給付金を交付します。

■多面的機能支払交付金事業

1,753万5千円

農村環境向上の効果が高い共同活動に取り組む組織に対して支援を行います。



市内の農業の未来を担う青年就農者

3

重点施策 生活をまもる

■高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定事業

827万7千円

高齢者福祉の総合的な計画である「高齢者福祉計画」と、介護保険サービスの整備方針や介護保険料を算出する「介護保険事業計画」について、アンケート結果や適正な介護保険サービスの分析を行い、平成30年度～32年度の次期計画の策定を行います。

■介護給付等事業

14億8,677万7千円

障害者および障害児に必要な障害福祉サービスにかかる給付事業を行います。

4

重点施策 共助社会づくり

■コミュニティ運営協議会補助事業

3,962万2千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動に補助を行います。

■まちづくり支援事業

1,176万1千円

コミュニティ運営協議会の活動支援にかかる事業を行います。



筑紫よかまち協議会「安西均生誕100年記念イベント」

5

重点施策 未来をつくる

■生活交通対策事業

3,582万8千円

交通の充実を図るため地域公共交通会議の開催、バス運行の委託および補助を行います。



御笠地区を走る「ちくしのバス」



宅地・道路をつくっています

■筑紫駅西口土地区画整理事業

6億5,473万4千円

筑紫・若江の各一部の健全な市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を行います。

■児童福祉施設整備事業

1,968万8千円

保育定員の増員を図るため既存施設を改修する事業に対して補助を行います。

■生徒指導総合推進事業

2,045万9千円

いじめ・不登校対策のため相談員の配置などの支援を行います。

■利用者支援事業

293万4千円

子育て中の親子や妊娠している人を対象に、子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供および相談・助言、関係機関との連絡調整などを行います。

■拡大子ども医療費支給事業

3,268万8千円

福岡県公費医療制度の対象とならない子どもの通院・入院について医療費を支給します。

ちくしのし かけいぼ 筑紫野市の平成29年度家計簿



筑紫野市の歳入歳出の予算の区分を、家庭の家計簿の区分に当てはめてみました。市の予算を身近に感じられるように給与がひと月35万円（年収420万円）の家計に例えています。（給与は、平成27年分民間給与実態統計調査における平均給与を基準にしています）

筑紫野市の予算を家計に例えると…

収入

給与	35万円
基本給（市税）	18万円
諸手当（国・県からの補助金・交付金など）	17万円
パート収入（使用料、手数料、諸収入など）	3万円
預貯金の取り崩し（繰入金・繰越金）	1万円
借金（市債）	3万円
合計	42万円

支出

食費（人件費）	6万円
医療費（扶助費）	12万円
公共料金・日用品（物件費）	5万円
子どもたちへの仕送り（補助費等・繰出金）	9万円
家や車、家具の修繕など（普通建設事業費・災害復旧事業費など）	5万円
貯金への積立など（貸付金、積立金、投資および出資金）	1万円
ローン返済（公債費）	4万円
	42万円



今年の家計簿を見ると、支出については昨年と比べ医療費と家や車、家具の修繕などは増えていますが、食費、公共料金・日用品については節約を行ったため減っています。

1位は扶助費です。

市が、高齢者や障害者などの福祉の充実に一番多くのお金を使おうとしていることが分かります。



市のお金の使い道ランキング

順位	費目	内容	予算額
1位	扶助費	生活保護費や高齢者・障害者への給付などに	89億6,216万4千円
2位	人件費	職員の給料や議員等の報酬などに	42億8,933万1千円
3位	物件費	光熱水費や施設の維持管理費などに	40億6,342万7千円
4位	補助費など	各種団体などへの補助金や負担金などに	38億2,803万9千円
5位	普通建設事業費など	道路や施設の建設費などに	36億8,994万8千円

平成28年度下半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。今回は、平成28年度下半期（平成29年3月31日現在）の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。なお、5月31日まで出納整理期間が設けられているため、最終的な決算額とは異なります。

会計名	予算現額A	収入済額B	収入率 B/A×100	支出済額C	執行率 C/A×100
一般会計	333億481万4千円	315億812万4千円	94.6%	268億2,870万6千円	80.6%
国民健康保険事業	113億6,093万9千円	94億7,097万4千円	83.4%	103億7,183万1千円	91.3%
住宅新築資金等貸付事業	1,950万9千円	2,067万3千円	106.0%	462万8千円	23.7%
奨学資金貸与事業	1,044万6千円	321万5千円	30.8%	646万3千円	61.9%
介護保険事業	59億8,974万2千円	47億2,392万2千円	78.9%	53億9,534万4千円	90.1%
後期高齢者医療事業	21億6,327万9千円	21億2,113万7千円	98.1%	21億174万4千円	97.2%
農業集落排水事業	2億2,678万3千円	3,545万5千円	15.6%	1億9,643万4千円	86.6%
筑紫地区障害支援区分等審査会事業	1,176万6千円	1,175万5千円	99.9%	750万1千円	63.8%
二日市財産区	341万5千円	326万1千円	95.5%	89万4千円	26.2%
御笠財産区	940万1千円	882万1千円	93.8%	364万7千円	38.8%
平等寺山財産区	979万8千円	271万1千円	27.7%	776万7千円	79.3%
合計	531億989万2千円	479億1,004万8千円	90.2%	449億2,495万9千円	84.6%

●市民の税負担状況（平成29年3月31日現在の人口 103,278人）

●市民一人あたりの市税負担額 127,568円（市税収入済額131億7,494万4千円に対する額）

●財産の現在高

●基金 102億5,214万7千円（平成28年度末見込）
土地、建物につきましては、平成28年度決算確定後に公表します。

●市債および一時借入金の現在高

●一般会計 272億2,069万5千円（平成28年度末見込）
●特別会計 13億1,372万4千円（平成28年度末見込）
●一時借入金（全会計） 0円（平成29年3月31日現在）

●詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。